



中部電気工事協力会連合会  
Chubu Electric Works Federation

2025年2月7日  
中部電気工事協力会連合会  
安全品質委員会 資料1

# 高圧間接活線工法への全面切替に向けた対応について

2025年2月7日

## 00 要旨

- 先般、安全品質委員会において、協力会における安全ルール案（安全作業必携（間接活線工法編））の修正案を提示させていただき、各県より再度の意見を集約させていただいた。意見を踏まえた最新の修正案を提示するため、内容を確認いただきたい。
- また、安全作業必携の内容等、概ねの取扱いが決定した以降の全面切替に向けた今後の対応方針（工具配備、教育の実施）について提示させていただく。
- 本資料に基づき、各県以下においても会議体等の機を捉えて、協力会会員の皆さまへの周知・共有をお願いしたい。

### 別紙 1 - 1 参照

#### 【今後の予定】

～2/21 今回提示案への意見要望の確認

～2/28 ご意見に対する最終修正および修正版の再提示（電子メールにて各県へ共有）

3/5 安全品質委員会にて最終版として提示。順次、BOXにて電子版を各県へ配付。

以降、必要数を印刷手配。安全作業必携の別冊として各県へ配付。

## 02-1 引込線工事センターへの工具配備

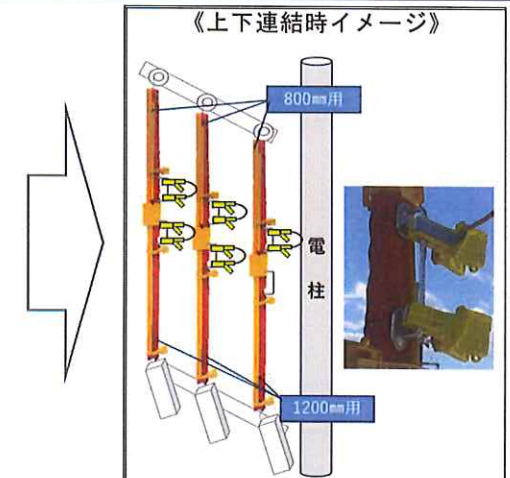
- 間接活線作業に必要な工具類の配備完了時期は以下のとおり。  
 遮蔽層防具・・・教育用品は2025.3月末配備。実際に使用する現場用品は9月末配備予定。  
 絶縁用防具・・・2025.4月末配備。  
 上記以外・・・配備済み。(中電PG事業場にて保管中)
- 今後、教育実施までを目途に、中電PG保管分も含めて工具貸与の手続きを事業場間にて随時実施。



















協力会	下部直引込線工事用 一式 (参1参照)		高圧変成器工事 一式 (参2参照)	
	数量 (目安：直営班クルー数あたり1セット)	時期	数量 (目安：引込工事センターあたり1セット)	時期
名古屋	32セット	■ 遮蔽層防具(教育用):2025.3 各引込工事センター：1セット (計36セット) ■ 絶縁用防具:2025.4 ■ 遮蔽層防具(現場用):2025.9 ■ ヤットコ:配備済み	9セット	一式配備済み
静岡	34セット		5セット	
三重	20セット		7セット	
岐阜	40セット		5セット	
長野	28セット		6セット	
東部	26セット		4セット	



## 02-1-参1 配備工具一覧（下部直付装柱【高圧引下線防具取付作業】）

工具名	絶縁ヤットコ（可変型）	遮蔽層防具
写真イメージ		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>カバー類や防具の把持に使用</li> <li>先端が縦・横・斜め方向に可変する仕様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤットコにて把持し、高圧引下線に取付</li> </ul>
配備時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>配備済み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育用：2025.3月</li> <li>現場用：2025.9月</li> </ul>



工具名	間接活線用絶縁具（シート）	絶縁具クリップ												
写真イメージ	<table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>中</td> <td>大</td> <td>特大</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	小	中	大	特大					<table border="1"> <tr> <td>3型</td> <td>L</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3型	L		
小	中	大	特大											
														
3型	L													
														
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>高圧充電部分に使用（「工具・材料等の他物」が接触し、感電・地絡・短絡が生ずるおそれのある場合）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記シート取付時に使用</li> </ul>												
配備時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>大×2：2025.4月（今後の作業検証により種類・数量を追加配備）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記シートと同様</li> </ul>												





## 02-1-参2 配備工具一覧 (VCT工事【アースフック取付・撤去作業】)

全数配備済み

工具名	間接活線用アースフック (線路用)	間接活線用アースフック (キュービクル用)	絶縁ヤットコ (可変型)	間接活線用検電器 (伸縮型)	ユニバーサルポール	中間皮剥き器 5mm,60sq用,125sq用
写真・図面イメージ						
概要	・補助アースなし (運用変更)		・カバー類の把持等に使用 ・先端が縦・横・斜め方向に可変する仕様	・伸長時に全長950mm程度 ・高・低圧レンジ切替式	・先端工具をつけて使用 ・操作性向上を目的に現行品に比べ短尺化 (全長1.4m)	・中間箇所での皮剥ぎに使用 ・分岐金具操作器を使用して、高圧線へ取付 ・線種ごとに本体を保有する
工具名	プリカナイフ	中間線磨き器	電線保持器	分岐金具操作器	確認ミラー	PC操作器
写真・図面イメージ						
概要	・ユニバーサルポール先端工具 ・テーパー等の切断に使用	・ユニバーサルポール先端工具 ・中間皮剥き箇所の線磨きに使用	・ユニバーサルポール先端工具 ・皮剥き時等、電線を保持するために使用	・ユニバーサルポール先端工具 ・バイパス金具やアースフック等の取付・外に使用	・ユニバーサルポール先端工具 ・皮剥きの状態等を確認	・ユニバーサルポール先端工具 ・中間皮剥き時に使用



## 03 導入教育の実施

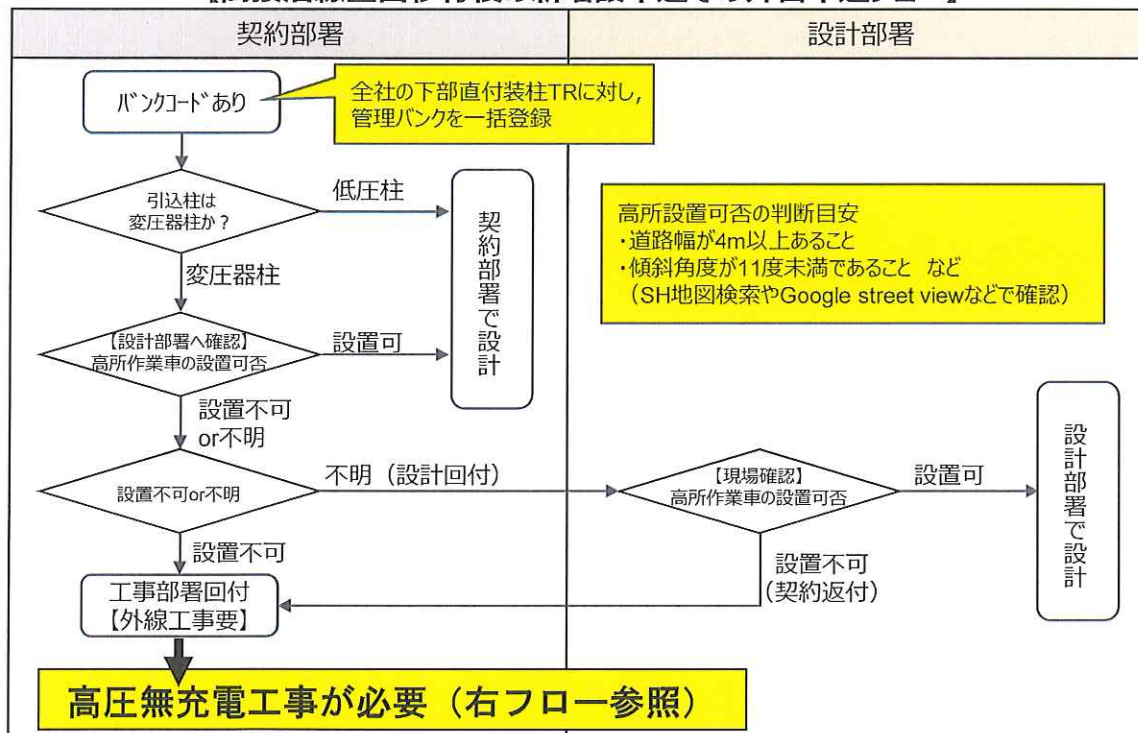
各引込工事センターが実施する技能認定訓練に同調した教育実施を基本方針とする。

項目	対応方針
時期	2025.5月～（間接活線用絶縁具の配備後）
対象者	各県が定めるランク別の標準的な施工範囲による。概ね以下。 （下部直引込・・・工事店ランクS V C T工事・・・工事店ランクS, A, B）
訓練実施者	1. 各センターの安全担当者等の代表者に対して、電力事業場により事前に教育を実施。 2. 技能認定訓練日に安全担当者による教育を実施（必要により電力事業場にて支援）
教育内容	中電PGの要素作業書に基づいた作業の反復実施。要素作業書の時間を達成基準とする。 （3回程度の反復訓練により要素作業書と同程度の時間を達成見込み）
必要工具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・02-1-参1、02-1-参2スライド参照。</li> <li>・参考：遮蔽層防具（教育用）の内訳 各引込工事センター：1セット（計36セット） * 1セットあたり本体1200用×1、本体800用×1、アースリード600×1、アースリード1500×1、クリップ×2</li> </ul>

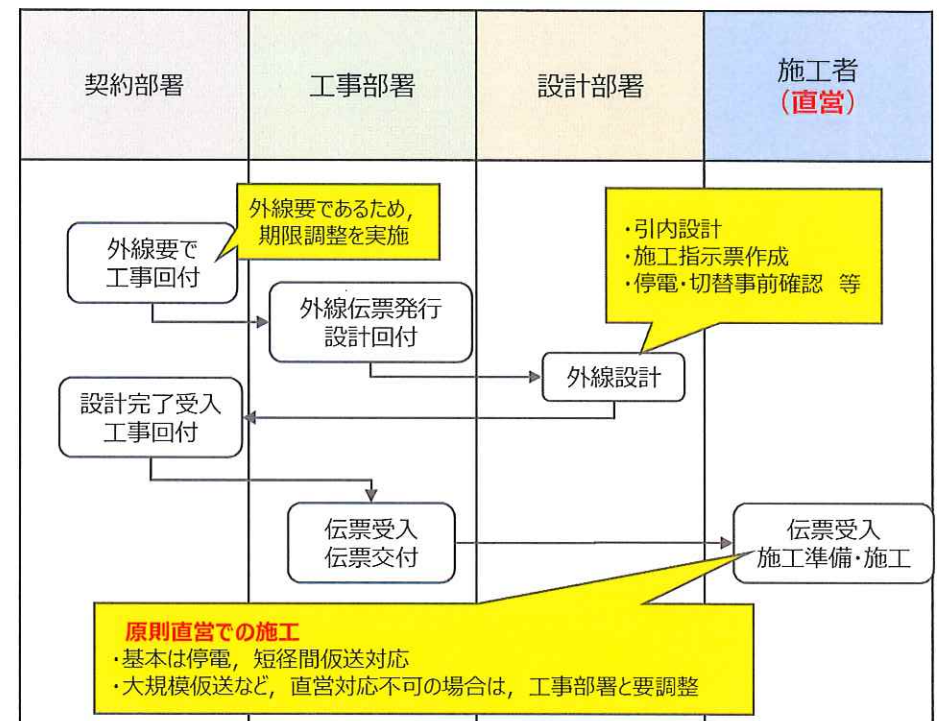
## 04 その他（伝票交付について）

間接活線工法への切替後は、下部直付装柱での引込線工事（メッセン新設工事含む）の工法が変更になること踏まえ、中部電力PGにおいて、事前に下部直付装柱の有無、高所作業車使用可否を判断のうえ、伝票付託を行う。  
（委託施工不可の場合は中部電力PG 直営において、高圧停電にて施工する。）

【間接活線全面移行後の新增設申込での外否申込フロー】



【要外確定後の引込工事業務フロー】





# 05 間接活線工法への全面切替に向けたスケジュール（2025年）

全面切替

